

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立桜花小学校 校長 笹原 天平

1 学校教育目標

生涯にわたる実現を目指す自立した人格・人権尊重と公共の精神に富み、よりよい社会の形成に主体的に参画する国民・我が国の伝統と文化を基盤として国際社会の発展に寄与することのできる知・徳・体の調和した児童を育成する。

- ①よく考える子 ②思いやりのある子 ③たくましい子

2 現状の学校図書館の課題

- ① 図書館が普通教室から離れた場所にある。
 ② 図書館の割り当て時間を時間講師が担当しているため、使いたいときに使えないことがある。
 ③ 低学年はよく図書館を利用し読書量も多いが、学年が上がるにつれ利用率が減っている。
 ④ 学校図書館が2部屋に分かれていて、学習センターとして活用しにくい。

3 今年度の学校図書館の目標

- ① 児童が多くの本に出会い、親しみ、読む量とともに質の向上を図る。
 ② 各教科の授業等で図書館の活用の機会を増やす。

4 今年度の重点取組

- ① 情報センター、学習センターとしても活用できるよう書架の入れ替えなどの整備に取り組む。
 ② 学校図書館を活用して取り組む学習の年間指導計画を立て、毎月の学習計画に基づいた関連図書の提示や、不足している分野の資料整備に図書館支援員と連携して取り組む。
 ③ 表彰や掲示などで読書に対する児童の意欲を高め、読書の量および質の向上をはかる。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館を活用して取り組む単元等）
国語	①おはなしききたいな、としょかんへいこう、としょかんとなかよし じどう車ずかんをつくろう、どうぶつの赤ちゃん ②「生き物クイズ」でしらせよう、せつめいのくふうを読んでたしかめ、せつめい書 を書こう、アレクサンダとぜんまいねずみ ③図書館たんていだん、本で知ったことをクイズにしよう、すがたを変える大豆、 食べ物のひみつを教えます、モチモチの木、本の世界を広げよう ④不思議ずかんを作ろう、花を見つける手がかり、分類をもとに本を見つけよう ⑤図書館を使いこなそう、みんなが使いやすいデザイン、方言と共通語、 固有種が教えてくれること、あなたはどうか考える、子ども未来科で何をする ⑥図に表して整理しよう、立場を明確にして主張しよう、ひろがる読書の世界、 読書タイムラインを作って交流しよう、
社会	③足立区のように ④東京都の様子 ⑤さまざまな土地の暮らし、自然災害から人々を守る ⑥日本のあゆみ、世界のなかの日本とわたしたち、
理科	③生き物のすがた、植物の育ち方・体のつくり、こん虫のかんさつ ④動物のからだのつくりと運動、月や星の見え方（夏の星、冬の星） ⑤台風と天気の変化、理科とSDGs ⑥地球に生きる
生活科	①きせつとなかよし はる・なつ・あき・ふゆ、いきものをさがそう ②「生き物クイズ」を作ろう

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

図工	①のってみたいないきたいな（図鑑で乗り物調べ） ②絵本を読んで絵をかこう（絵本の場面の絵を想像して描く） ③紙版画（図鑑などでモチーフ探し） ④まぼろしの花（植物図鑑で花の書類調べ） ⑤パズルをつくろう（図鑑などでモチーフ探し） ⑥絵文字をつくろう（国語、漢和辞典で漢字調べ）
家庭科	⑤⑥作品のデザインの参考にする。
外国語・外国語活動	③④外国語の絵本の読み聞かせを聞く。 ⑤身の回りのものの言い方を調べる。 ⑥世界の国について調べ、外国語で紹介する。

実践の評価

・1年生は国語と生活科で読書活動と調べ学習に取り組んだ。国語「じどう車ずかんをつくろう」で一人1冊ずつ本を選び、仕事をとつくりを抜き出し、文と絵でカードにまとめることができた。「もののなまえ」「どうぶつの赤ちゃん」でも同じように調べ学習を行った。多くの昔話の読み聞かせにも取り組み、本に親しむことができた。生活科の「なかよくなろうね小さなともだち」では、バッタについてみんなで調べた後、自分の好きな虫を選び、えさ・すみか・体のつくりについて自分で調べてまとめることができた。

・2年生は国語と生活科で読書活動と調べ学習に取り組んだ。国語「生き物クイズをつくろう」では、クイズを作るために調べ学習を行い、積極的にクイズづくりに取り組めた。「ないた赤おに」「かさこじぞう」では、昔話の読み聞かせを行い、関心を高めることができた。生活科「作ってためして」では身近な材料で作るおもちゃについて調べ、参考にしながら、実際に手作りおもちゃを作ることができた。

・3年生は国語と社会、総合で読書活動と調べ学習を行った。「本で知ったことをクイズにしよう」「食べもののひみつを教えます」「仕事のくふう見つけたよ」で、それぞれのテーマに合わせて調べ学習をした。「おすすめの一冊を決めよう」では、本の紹介文を書いて、お互いに伝え合うことができた。社会「足立区のように」では、地域に関わる本を紹介し、調べ学習をした。意欲的に取り組み、学習発表会では足立区で働く人々について分かったことを分かりやすく発表することができた。総合「桜花生き物たんけん隊」では、身近な生き物について図鑑などを使って調べ、スライドなどにまとめることができた。

・4年生は国語・社会・理科で読書活動と調べ学習を行った。国語「読書発表会をしよう」では支援員や図書担当教員がブックトークの見本を見せ、児童も取り組んだ。全員がお気に入りの本を紹介することができた。「不思議図かんを作ろう」「故事成語」「手話であいさつをしよう」では、テーマに合わせて本を見つけ、調べ学習に取り組んだ。「分類をもとに本を見つけよう」では、図書館における分類の仕方について学んだ。社会「東京都の様子」では東京都について、理科「夏の星、冬の星」では星や星座についての本を読み、学習を深めることができた。

・5年生は国語と総合で調べ学習を行った。国語「自然環境を守るために」では現在の環境問題について調べ、これからどうしていけばいいか図書の中の資料を用いて説得力のある文章を書くことができた。「図書館を使いこなそう」では、本の分類の仕方を参考にしながら目的の本を見付けられるようになった。総合「日本の伝統文化」では、伝統文化について本を活用して調べた。

・6年生は、国語と社会で読書活動と調べ学習を行った。国語「読書タイムラインを作って交流しよう」では、6年間で読んだ学校図書館の本をふり取りながら紹介カードを作り、図書館内に掲示した。社会「日本とつながりの深い国々」では、外国について調べまとめることができた。

・図工では、デザインの参考に学校図書館の本を活用した。1年「おはなしだいすき」では、想像がふくらむ内容の絵本を支援員に紹介してもらい、児童が好きな場面を選んで絵をかいた。3年「いろいろうつして」では版にする絵のモチーフを図鑑から探したことで、モチーフの特徴を正確に把握できた。6年「絵文字をつくろう」では、好きな漢字の成り立ちを辞典で調べ、その由来や字形などに興味を持たせることで、意欲的に作品作りに取り組めた。

・今年度、学校図書館を読書センターとしてだけでなく、情報センター、学習センターとしても活用している学級を増やすことができた。

6 図書館運営計画

（1）日常的な取り組み

- ①読書通帳を利用した読書の推進をはかる。
- ②年間指導計画や毎月の学習計画に基づき、関連図書を収集し提示する。
- ③国語科の授業において並行読書できるように、教科書掲載図書および関連図書を収集し提示する。

6 図書館運営計画

(2) 主な行事の取り組み

- ①読書週間年2回 ②本の福袋作成

(3) 図書委員会などの取り組み

- ①休み時間に図書館において貸出・返却の処理を行う。
②読書クイズ ③おすすめの本紹介コーナー ④本の福袋作成 ④低学年への読み聞かせ

(4) 環境整備の取り組み

- ①夏期休業中に書架の入れ替えを行い、学習に取り組みやすいよう環境整備に取り組む。
②4類の請求記号を3桁に統一し、分類の理解を深める。
③購入分を分類ごとに配架したり、古くなった資料を除籍したりして、図書館内の資料の更新をはかる。

(5) 司書・外部との連携

- ①給食の時間に放送による読み語りを実施する。
②展示や掲示を工夫し、利用しやすい図書館づくりをすすめる。
③教員と共通理解を図る機会を確保し、資料の準備をより充実させる。

実践の評価

- (1) 日常的な取り組みについて
△読書通帳を用いて読書の推進を図ったが、年間の目標を達成できた児童は14%にとどまった。
○毎月、学習計画に基づき資料収集を行い、調べ学習や並行読書に取り組みやすくなることができた。
- (2) 主な行事の取り組みについて
○秋と冬に読書週間を設定し、図書委員会の児童や教職員にも協力してもらいながら、おすすめの本コーナーの作成や福袋の作成に取り組んだ。初の試み「来館スタンプラリー」では、休み時間の学校図書館の稼働率を向上させることができた。
- (3) 図書委員会の取り組みについて
○当番の日は図書支援員とともに、貸し出し・返却処理を行ったり、読書週間の取り組みに積極的に取り組んだりすることができた。
△低学年への読み聞かせは取り組むことができなかったため、来年度はより休み時間を学校図書館で過ごす児童が増やせるよう、委員会の児童と一緒に考えていく。
- (4) 環境整備の取り組みについて
○夏休みに書架の入れ替えの計画を立て、全教職員で実行することができた。学習センターとして整備したことで、授業時間に学習利用する学級を増やすことができた。
○請求記号の3桁への統一を進め、目的の本を探しやすく整備することができた。
○計画的に必要な図書を購入し、図書館内の資料の更新を図ることができた。
- (5) 司書・外部との連携について
○毎週、給食の時間に放送による読み語りや本の紹介を実施することができた。
○季節や行事に合わせた展示コーナーを作成し、明るく利用しやすい図書館づくりをすすめることができた。
△学校図書館を活用している学級とそうではない学級の差があったため、来年度はより学校図書館を授業で活用できるように、計画立てていく。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	学年に応じて図書館の仕組みを指導し、様々な分野の本や資料を探したり、読んだりできるようにさせる。	児童の平均貸出冊数 月2冊	年間の児童の平均貸出冊数が33.45冊のため 月2冊以上は 100%達成している。

②	学年に応じて自ら問いをもち、インターネットや図書、新聞など、複数の情報を活用して学習できるようにさせる。	全学年で I C T と図書を併用した調べ学習を実施	低学年は図書資料のみで調べ学習に取り組んだ。 中・高学年は全クラス併用して調べ学習に取り組んだ。
③	図書館年間指導計画に合わせ、各教科の授業で図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書資料を活用した教員の割合 80%	全教員が学校図書館で図書資料を活用した授業を行った。

8 学校図書館全体に関する自己評価

今年度の大きな成果は、学校図書館を読書センターだけでなく、学習センター、情報センターとして活用できるように、書架の整理をしたことである。2 部屋ある学校図書館内の書架を大幅に変更し、学習用の机がある部屋に主に調べ学習で使う 0 類から 7 類の本を配架し、8 類と 9 類、絵本をもう一つの部屋に配架した。以前は絵本だけの部屋とその他の本の部屋となっていたので、とても調べ学習に取り組みやすくなった。

また夏休みに、巡回販売を利用し、各学年調べ学習に必要な本を選書し、購入した。毎月の学習指導計画に基づいた資料収集も行い、国語を中心に教科の学習に図書を活動できるように図書支援員と連携をとりながら整備を続けた。

以上の取り組みによって、学校図書館の授業での利用も増え、館内で調べ学習に取り組むクラスも増えている。来年度は学校図書館利活用推進校に決定しているので、より一層学校図書館の活用が進むように年間学習計画に図書館活用計画を盛り込んで、計画的に調べ学習にも取り組んでいく。